

# 1 研究構想（令和6年度）

瑞穂市立本田小学校

学校の教育目標

みつけ たすけあい やりぬく子

## 【学校課題】

- 自分の思いを相手に進んで伝えようとする事ができる。
- 仲間のよさを見つけ、伝え合うことができる。
- 自分の思いを伝え、仲間と考えを深めるために議論する楽しさを実感している。
- △仲間の考えから自分の考えがどう変化したかを考え、深める力が十分とは言えない。
- △道徳的行為に関する体験を想起し、自己を見つめ、自己の生き方を考えることがあまりできない。

## 【めざす子どもの姿】

### 共に生きる喜びをつくりだす子

- 互いに考えを伝え合い、よりよい生き方を追求し実践できる子
- 自己を見つめ、主体的に判断し、行動できる子

## 研究主題

### 共に生きる喜びをつくりだす子の育成

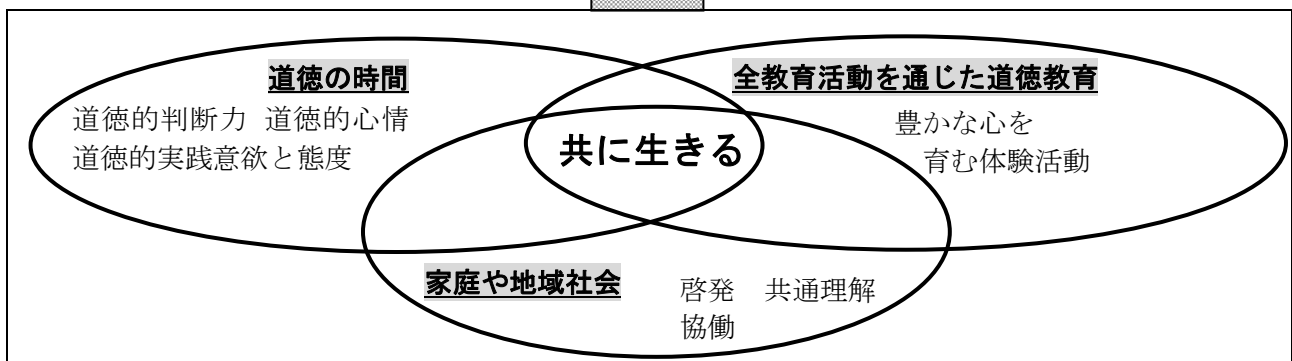
～仲間と共に自己の生き方について「考え、議論する」道徳の時間の在り方～

## 研究の仮説

全教育活動を通じた道徳教育を基とし、道徳の時間において児童が主体的・対話的に考え、議論しながら、自己の生き方について考えを深め合うことができるよう、発達段階に応じた手立てを講ずることで、「共に生きる喜びをつくりだす子」を育成することができる。

## 研究の内容

- 1 「考え、議論する道徳」を実現するための指導過程の工夫
  - ・児童の実態と思考の流れに即したねらいと展開について
  - ・発達段階に応じた「考え、議論する」手立てについて
- 2 自己を見つめ、よりよい自己の生き方の実現に向かうことができる指導援助の工夫
  - ・自己の考えの変容を表出する活動の工夫
  - ・道徳的行為に関する体験を想起できるような指導・援助



学年部	低学年部	中学年部	高学年部	特別支援部
重点内容項目	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (6) 親切、思いやり C- (12) 勤労、公共の精神 D- (17) 生命の尊さ	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (6) 親切、思いやり C- (13) 勤労、公共の精神 D- (18) 生命の尊さ	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (7) 親切、思いやり C- (14) 勤労、公共の精神 D- (19) 生命の尊さ	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (6) 親切、思いやり C- (12) 勤労、公共の精神 D- (17) 生命の尊さ